

Practice #2A

繰り返し文（文法の基礎1）

課題学習 2 Aa（必須）

課題学習 2 Ab（必須）

課題学習 2 Ac

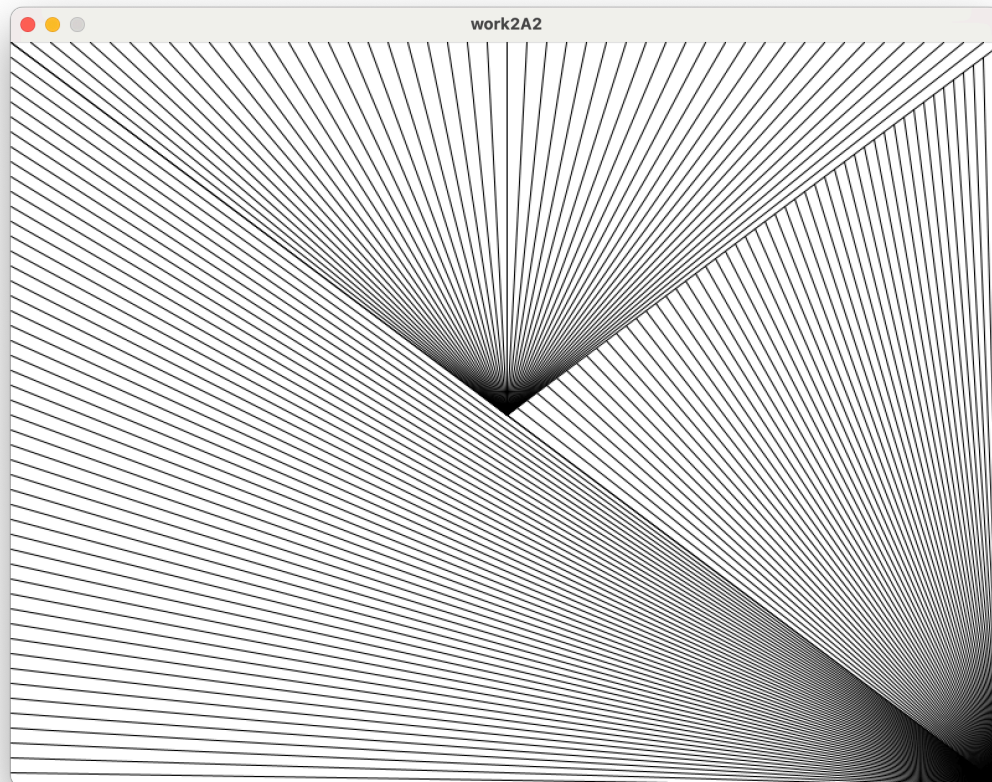
課題学習 2 Ad

締め切り
05.21 [木]

課題2Aa,2Ab (必須)

work2Aa.pde

FOR文を使って、500 x 500 のサイズのウィンドウの内部に自由に「繰り返しによる図像」を書いてください（フリードローイング）。単純なルールの繰り返しで、複雑な幾何学的イメージを作ることを念頭にしてください。ただし、これまでに学習した範囲で描画すること（条件文およびrand関数は用いないこと）。



work2Ab.pde

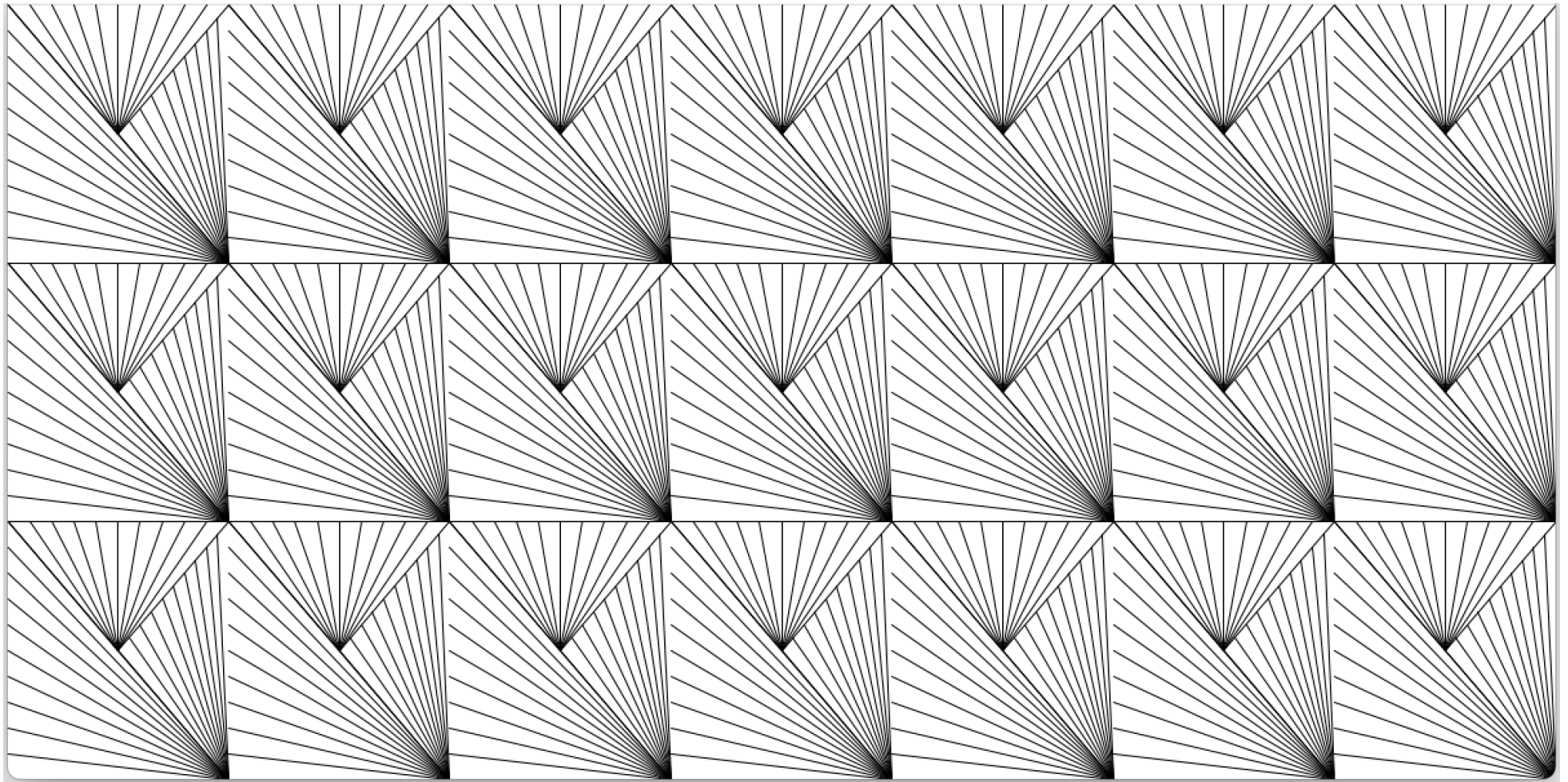
左のようなパターンを出力するプログラムを完成させてください。

左辺・上辺・半対角線上の各端点は、一辺を80等分する点とし、合計240本の線を引くようにしてください。ウィンドウのサイズは自由とします。（左図は50等分の例）

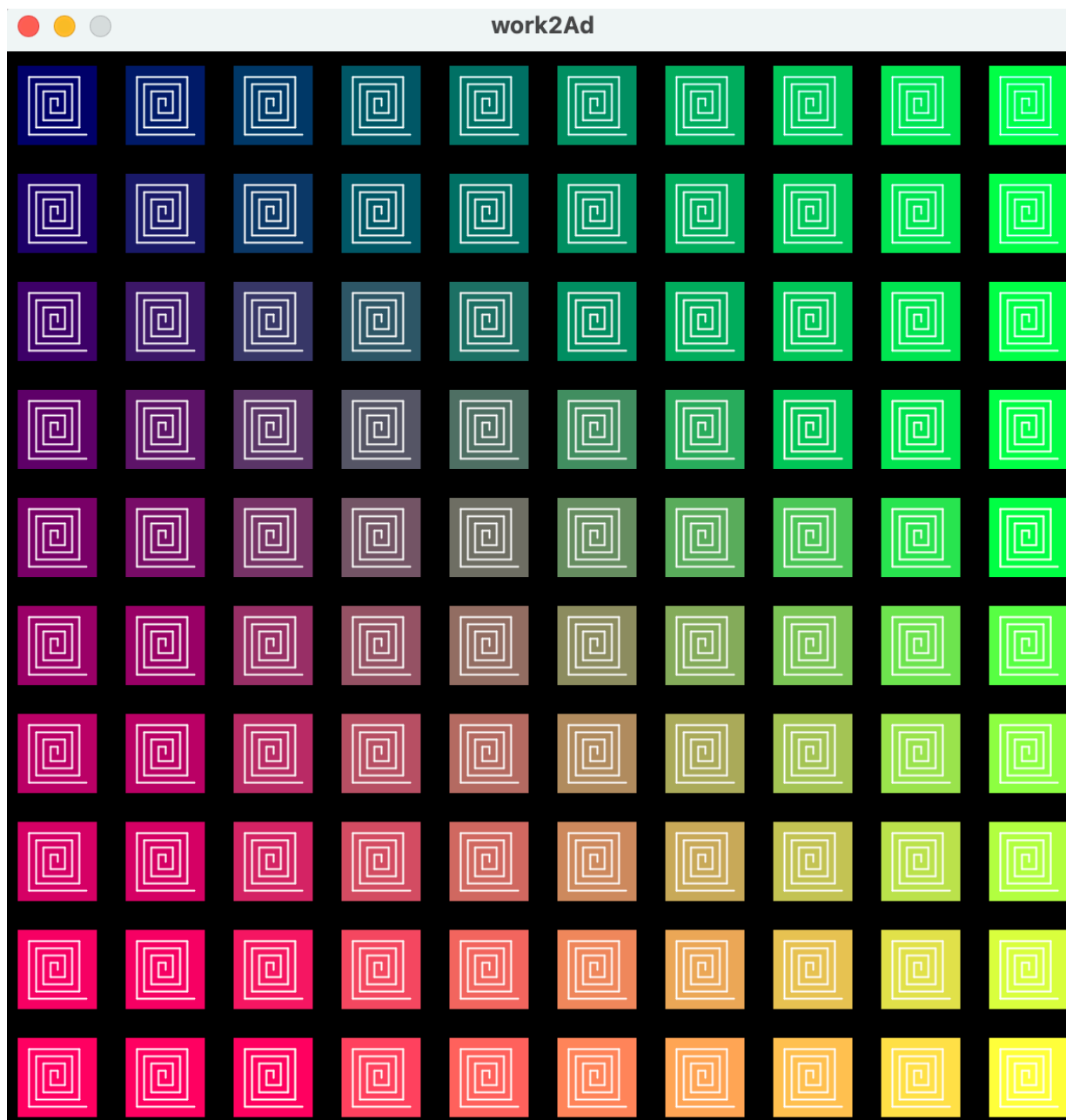
課題2Ac

work2Ac.pde

1200 x 600のウィンドウに、2Abのパターンが**5x9**で配列するようなプログラムを作成してください。各辺は10等分で線が引かれているものとしします。
(下図は、3x7の例です)



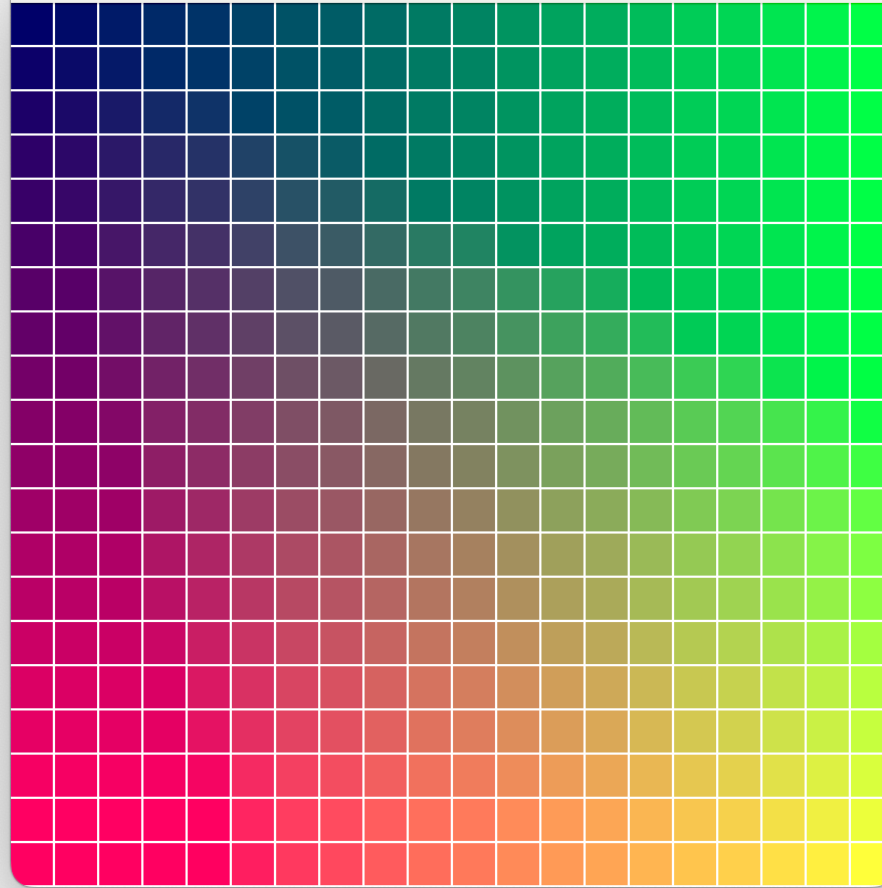
課題2Ad



work2Ad.pde

課題1cの図像をグリッド状（10x10）に配置したプログラムを作成してください。各図像の背景色は、次頁を参考としグラデーションとなるようにしてください（左上：青、右上：緑、左下：赤、右下：黄）。

ヒント：色見本の作り方 (20 x 20)



ヒント

for文の中にfor文を入れます (for文のネスト)。四角形の描画は `rect(x,y,w,h)` で実行する。この実行の前に、`fill(red,green,blue)` で色を決める。blueの値は固定とし、redとgreenの値を、四角形的位置に応じて、0から255を連続的に動くよう適切に決定する。